

グロース市場はいつ復活するのさ？

東証グロース市場250指数



グロース市場の低迷要因

- ① 2024年のトップピックは日経平均とプライム市場で時価総額が大きい銘柄
- ② 東証の企業統治改革はまずはプライム市場中心
- ③ 外国人投資家が銘柄を知らないので買わない
- ④ 個人投資家もプライム市場で勝負中
- ⑤ 柱となる銘柄が無い

グロース市場に光が差し込む？

① 2024年のトップピックは日経平均とプライム市場で時価総額が大きい銘柄

→プライム市場のもみ合いはいましばらく続く可能性（為替と金利情勢を見極め）

② 東証の企業統治改革はまずはプライム市場中心

→東証の資料（4P）見るとそろそろグロース市場の何か具体案？が出るかも

③ 外国人投資家が銘柄を知らないので買わない

→IRがんばってー

④ 個人投資家もプライム市場で勝負中

→グロースの売買代金増えれば自然とグロース市場に帰ってくる

⑤ 柱となる銘柄が無い

→グロースコア20のカバー、アドベンチャー、GENDA、6月宇宙IPO（アストロスケールHD）

3月22日の東証【グロース市場の上場基準に係る検討】資料より抜粋

はじめに



- ◆ グロース市場の機能発揮に向けては、これまでの本会議での議論を踏まえ、以下の対応を進めることとしている（1～4番については、東証において対応を順次実施）
- ◆ 本日は、今後、**上場基準の検討を進めるにあたっての基本的な考え方（目的・留意点等）**について、ご議論いただきたい

#	項目	対応状況・今後の予定
1	上場理由等の開示の促進	<ul style="list-style-type: none">● 新規上場時の「事業計画及び成長可能性に関する事項」の開示において、上場理由、上場時期・ファイナンス内容の設定に係る考え方等の記載を促進【速やかに】
2	上場準備に関する正しい理解の促進	<ul style="list-style-type: none">● 上場準備会社がIPOに係る疑問を東証に直接相談できる窓口の普及を推進【順次】● 赤字上場やIPO前のM&Aなど、上場準備会社において誤解が生じているテーマについて、事例を踏まえ上場審査の考え方を示すFAQ集を公表【速やかに】● その他のテーマを含むIPOを巡る課題について、実務関係者（主幹事証券会社・監査法人・VC・発行体等）と幅広く意見交換を行う場を設置【速やかに】
3	投資者への積極的な情報発信の促進	<ul style="list-style-type: none">● 投資家向け説明会・個別面談等を通じた成長ストーリーの積極的な発信を推奨し、コーポレート・ガバナンス報告書等において実施状況の開示を促進【速やかに】
4	機関投資家への情報発信の支援	<ul style="list-style-type: none">● IRの基礎知識や機関投資家の目線を紹介するセミナーを開催・配信【今月以降】● 経営者が積極的に成長ストーリーの発信を行う好事例を紹介【準備でき次第】● 経営者から機関投資家への情報発信の機会を創出（接点づくり）【準備でき次第】
5	上場基準の引き上げ	<ul style="list-style-type: none">● 本会議において、ファクトを踏まえて検討【本日以降】
6	プロ向け市場の活用	